



2024年3月期 決算説明資料

2024.05.08

TIS株式会社

© 2024 TIS Inc.

- TISの河村でございます。よろしくお願いいたします。
- それでは、まず私から、2024年3月期業績概要、2025年3月期の業績見通し、株主還元の3点について、ご説明いたします。

2024年3月期 業績概要

- ・ 前期比増収営業増益、修正計画達成。
- ・ 営業利益率は不採算案件の影響により前期・計画を下回る。
- ・ 全体の受注高、受注残高は堅調。

2025年3月期 業績見通し

- ・ 大型案件の反動減の影響が大きく、緩やかな増収増益。積極的な成長投資は継続。

株主還元

- ・ 24/3期は計画を上回る事業成長に伴い、3円の期末増配。
- ・ 25/3期は総還元性向を50%に引き上げ、配当は12円増配の68円を計画。自己株式の取得は65億円の予定。

- ・ はじめに、2ページをご覧ください。
- ・ 今回の決算のハイライトです。
- ・ まず、2024年3月期の業績については、前期比増収営業増益となりましたが、営業利益率は不採算案件の影響により残念ながら前期及び修正計画を下回る結果となりました。
- ・ 受注高・受注残高については、開発で反動減があったものの、運用等が積みあがったことで、前期比増加となりました。
- ・ 次に、2025年3月期の業績見通しについては、大型開発案件の反動影響や積極的な成長投資を継続することを踏まえ、緩やかな増収増益の計画としています。
- ・ 最後に、株主還元についてです。
- ・ 2024年3月期は1株あたり期末配当金を3円増配します。
- ・ また、2025年3月期は総還元性向の引き上げに伴い、1株当たり年間配当金は前期比12円増の68円、自己株式の取得額は65億円の予定です。

2024年3月期 業績概要

2025年3月期 業績見通し

株主還元

参考資料

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、TISインテックグループ（TISおよびグループ会社）が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・各四半期会計期間（3カ月）の数値は累計期間の差引により算出しています。

・各セグメントの売上高はセグメント間の売上高を含んだ数値です。（P.12、P.15除く）

（説明省略）

2024年3月期 業績概要

2025年3月期 業績見通し

株主還元

参考資料

(説明省略)

2024年3月期 業績ハイライト（前期比）



・顧客のデジタル変革需要等のIT投資ニーズへの的確な対応を通じた事業拡大等により、増収。
・成長投資を強化する中においても高付加価値ビジネスの提供等により、営業増益を実現。

（百万円）	2023年3月期 通期	2024年3月期 通期	前期比	
売上高	508,400	549,004	+40,604	(+8.0%)
営業利益	62,328	64,568	+2,239	(+3.6%)
営業利益率	12.3%	11.8%	▲0.5P	－
親会社株主に帰属する 当期純利益	55,461	48,873	▲6,588	(▲11.9%)
当期純利益率	10.9%	8.9%	▲2.0P	－
1株当たり当期純利益（円）	227.11	203.28	▲23.83	(▲10.5%)
ROE	18.8%	16.0%	▲2.8P	－

・営業外収益：5,012百万円（前期比 +2,523百万円）
→貸倒引当金戻入額 2,501百万円 等

・特別利益：3,291百万円（前期比 ▲18,748百万円）
→投資有価証券売却益 2,254百万円 等

・営業外費用：1,027百万円（前期比 ▲585百万円）

・特別損失：2,652百万円（前期比 ▲1,100百万円）

*：日本ICSの連結子会社化に伴う連結業績への影響（第2四半期～）は売上高58億円、営業利益6億円（のれん償却後）。

© 2024 TIS Inc.

■ 5

- ・ それでは、5ページをご覧ください。2024年3月期の業績概要です。
- ・ 見込まれていた大型案件のピークアウトが下期に生じ、その影響を受けましたが、全体としては通期にわたり事業拡大を進めることで、増収営業増益を実現しました。
- ・ 売上高は前期比8.0%増の5,490億円。
- ・ 営業利益は前期比3.6%増の645億円、営業利益率は第4四半期に発生した不採算案件の影響が大きく前期比0.5ポイント減の11.8%となりました。
- ・ 当期純利益は前期比11.9%減の488億円となりましたが、主に前期の政策保有株式の縮減に伴う特別利益の反動減によるものです。
- ・ また、ROEは当期純利益の減少に伴い、前期を下回る16.0%となりましたが、営業活動ベースでは向上しております。
- ・ なお、期中に連結子会社化した日本ICSの業績影響は、第2四半期からの累計で売上高58億円、のれん償却後営業利益6億円でした。

2024年3月期 業績ハイライト（計画比）

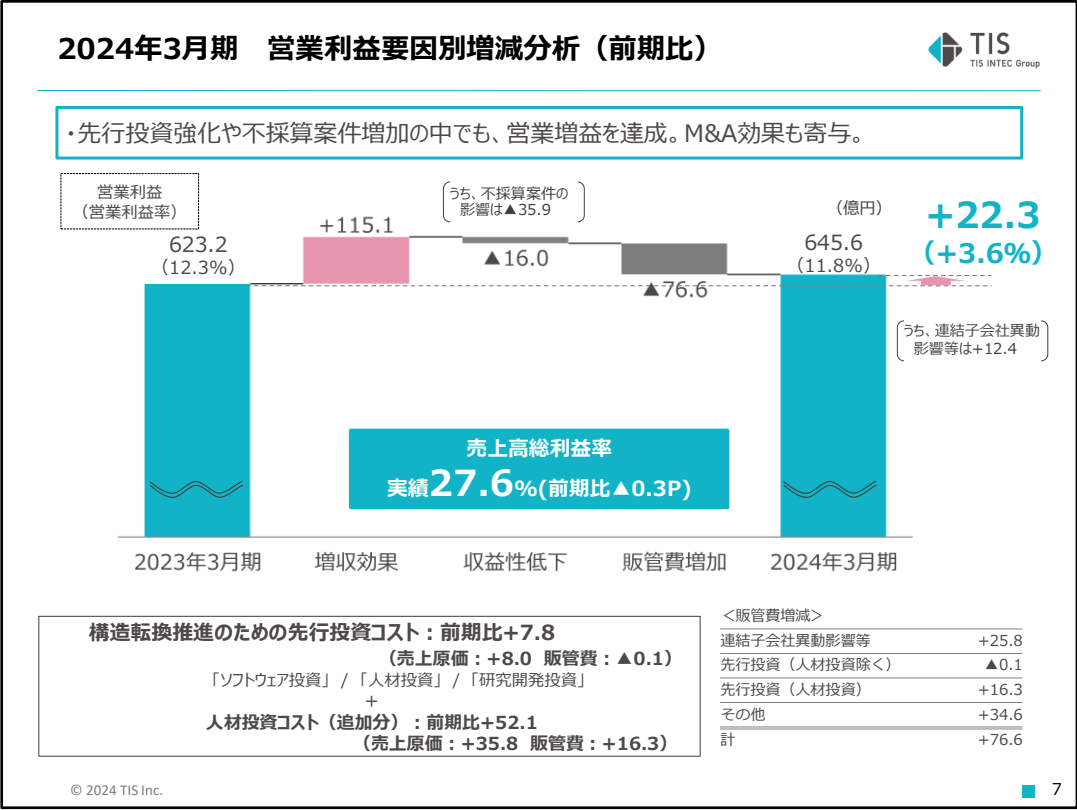


・国内既存顧客や海外事業を中心としたIT投資需要の取り込みにより、売上高は計画を上回る。
・営業利益の計画線での着地及び営業利益率の計画未達は主に不採算案件の影響。

(百万円)	2024年3月期 計画*	2024年3月期 実績	計画比	
売上高	536,000	549,004	+13,004	(+2.4%)
営業利益	64,500	64,568	+68	(+0.1%)
営業利益率	12.0%	11.8%	▲0.2P	－
親会社株主に帰属する 当期純利益	42,000	48,873	+6,873	(+16.4%)
当期純利益率	7.8%	8.9%	+1.1P	－
1株当たり当期純利益（円）	174.19	203.28	+29.09	(+16.7%)
ROE	13.7%	16.0%	+2.3P	－

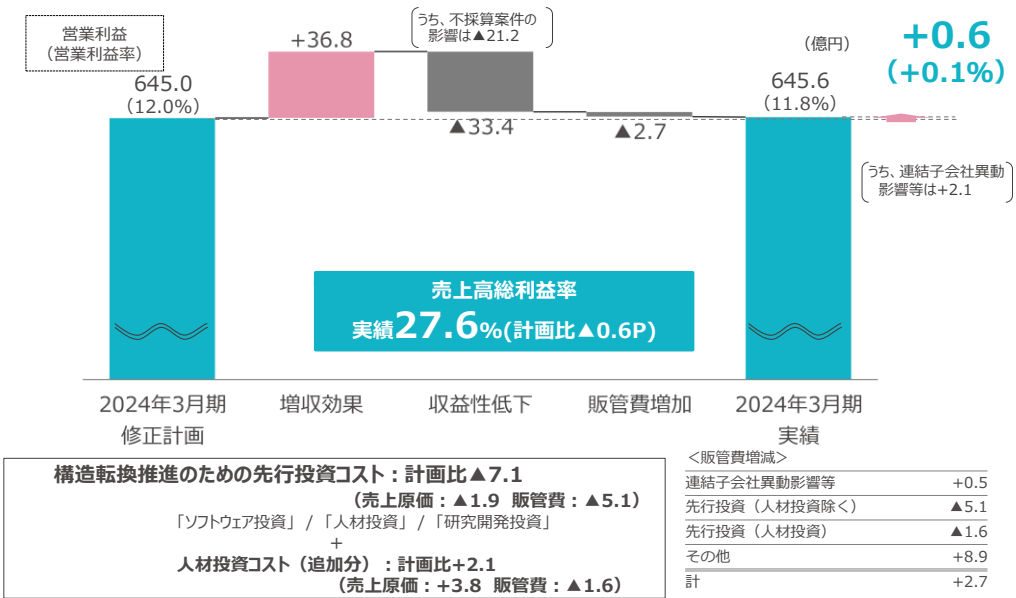
*当社公表済の最新計画値、ROEは試算値。

- ・ 続いて6ページは計画比です。
- ・ 売上高については広くIT投資需要の取り込みをしっかりとできたことで期中に引き上げた修正計画を上回る着地となりました。
- ・ 営業利益は計画線での着地、および営業利益率は計画未達となりました。
- ・ 当期純利益については、営業外収益と特別利益の計上を受けて、計画を大きく上回る結果となりました。



- 7ページは営業利益の要因別増減です。
- 主に増収効果による利益増が、人材投資強化をはじめとする成長投資の増加等を吸収して、前期比22.3億円の営業増益となりました。
- 高付加価値ビジネスの提供や生産性向上施策の推進等を通じて、収益性改善も着実に進めることができていましたが、不採算案件が計40億円発生したことが利益率の低下を招きました。
- 不採算案件のうち第4四半期に「広域ITソリューション」において約20億円計上した案件について、ここでご説明させていただきます。
- 該当のプロジェクトについては、新規顧客向け他社担当の既存システムからの更改案件でした。システム要件の難易度の高さなどの課題がある中で対処してきましたが、結果的に品質悪化等でスケジュール遅延が発生しました。
- 顧客との協議によりプロジェクトを中止し、それに伴う清算コストを計上しています。
- あらためてグループ全体での品質向上施策を強化し、不採算案件の未然防止に努めてまいります。

2024年3月期 営業利益要因別増減分析（計画比）



© 2024 TIS Inc.

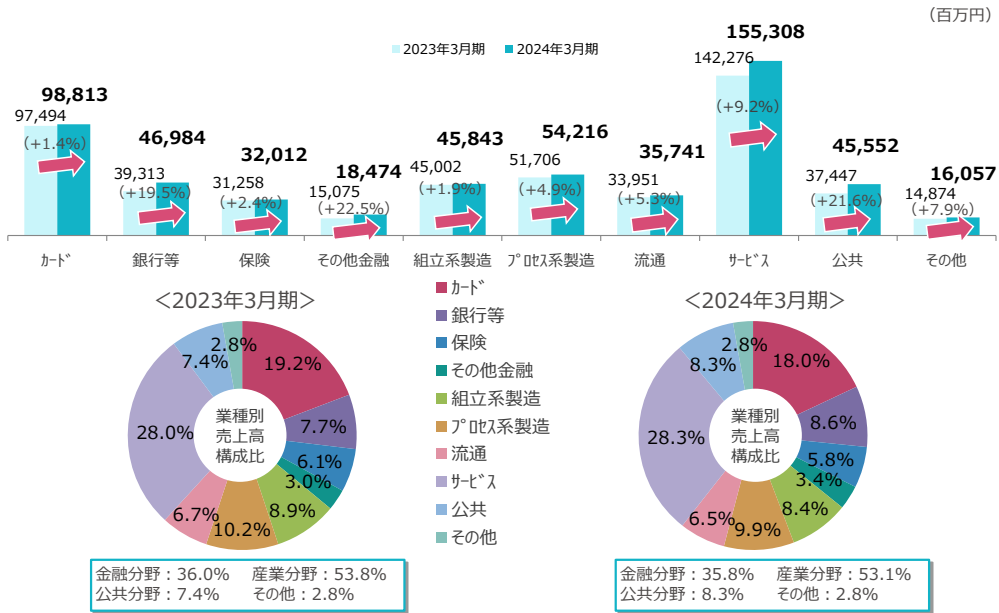
8

- 8ページは計画比です。
- 増収効果に伴う増益の大部分を不採算案件が打ち消した結果、営業利益は計画線での着地となりました。

2024年3月期 顧客業種別売上高



・すべての業種で前期比増加。サービス、公共、銀行が牽引する状況が継続。



© 2024 TIS Inc.

9

- ・ 9ページをご覧ください。顧客業種別売上高の状況です。
- ・ これまでとトレンドは変わらず、「公共」・「サービス」を中心として、全体的に好調でした。
- ・ 「公共」については根幹先顧客の大型案件の寄与が大きく、「サービス」については日本ICSの業績反映も貢献しました。
- ・ また、「銀行」の増加は、主に海外子会社MFECの現地向けビジネスが寄与したものです。

2024年3月期 主要セグメント別損益状況（前期比）



(百万円)		2023年3月期 通期	2024年3月期 通期	前期比	
オフアリングサービス	売上高	111,752	130,759	+19,006	(+17.0%)
	営業利益	6,426	7,659	+1,233	(+19.2%)
	営業利益率	5.8%	5.9%	+0.1P	－
BPM	売上高	43,255	41,953	▲1,302	(▲3.0%)
	営業利益	5,123	4,551	▲572	(▲11.2%)
	営業利益率	11.8%	10.8%	▲1.0P	－
金融IT	売上高	101,184	106,304	+5,119	(+5.1%)
	営業利益	13,896	15,185	+1,288	(+9.3%)
	営業利益率	13.7%	14.3%	+0.6P	－
産業IT	売上高	113,632	121,896	+8,263	(+7.3%)
	営業利益	16,728	18,287	+1,558	(+9.3%)
	営業利益率	14.7%	15.0%	+0.3P	－
広域ITソリューション	売上高	160,010	172,376	+12,365	(+7.7%)
	営業利益	19,343	18,497	▲845	(▲4.4%)
	営業利益率	12.1%	10.7%	▲1.4P	－

オフアリングサービス	: 決済、基盤系、経営管理分野へのIT投資拡大に加え、M&A効果等により、増収増益。海外事業も売上高伸長に寄与。
BPM	: 既存のデータエントリー業務が苦戦した影響が大きく、減収減益。
金融IT	: クレジットカード系の根幹先顧客および公共系金融機関の大型開発案件が主に上期において牽引し、増収増益。
産業IT	: 製造・流通等の幅広い業種でのIT投資拡大やERP関連が全体を牽引し増収増益。
広域ITソリューション	: 医療系や銀行、ネットワーク等へのIT投資拡大により増収するも、不採算案件の影響が大きく減益。

© 2024 TIS Inc.

- 10ページは、主要なセグメント別の状況です。
- 詳細は記載のとおりですが、「広域ITソリューション」は、不採算案件が発生した影響により減益となりました。

2024年3月期 主要セグメント別損益状況（計画比）



(百万円)		2024年3月期 計画	2024年3月期 実績	計画比	
オフアリングサービス	売上高	124,300	130,759	+6,459	(+5.2%)
	営業利益	7,300	7,659	+359	(+4.9%)
	営業利益率	5.9%	5.9%	▲0.0P	－
BPM	売上高	43,000	41,953	▲1,046	(▲2.4%)
	営業利益	4,850	4,551	▲298	(▲6.2%)
	営業利益率	11.3%	10.8%	▲0.5P	－
金融IT	売上高	105,500	106,304	+804	(+0.8%)
	営業利益	14,300	15,185	+885	(+6.2%)
	営業利益率	13.6%	14.3%	+0.7P	－
産業IT	売上高	117,700	121,896	+4,196	(+3.6%)
	営業利益	17,600	18,287	+687	(+3.9%)
	営業利益率	15.0%	15.0%	+0.0P	－
広域ITソリューション	売上高	169,100	172,376	+3,276	(+1.9%)
	営業利益	20,000	18,497	▲1,502	(▲7.5%)
	営業利益率	11.8%	10.7%	▲1.1P	－

オフアリングサービス	: 基盤系や経営管理分野のIT投資拡大や、M&A効果が想定を上回り計画達成。海外事業も売上高伸長に寄与。
BPM	: デジタル化ニーズは堅調だが、既存のデータエントリー業務等の苦戦が長引き、計画未達。
金融IT	: 売上高は想定線も、大型案件の効率的な推進が収益性改善に寄与し、利益は計画達成。
産業IT	: 製造をはじめとした幅広い業種のIT投資需要やERPに対する需要が想定を上回り計画達成。
広域ITソリューション	: 医療系や銀行、ネットワーク等へのIT投資需要が想定を上回り、売上高は計画達成も不採算影響により利益は未達。

© 2024 TIS Inc.

- 続いて11ページは、計画比です。
- 計画未達となった「BPM」は、既存のデータエントリー業務等の縮小の影響であり、「広域ITソリューション」は不採算案件の影響です。

2024年3月期
主要セグメント別売上高（事業別）※外部顧客向け



(百万円)	2023年3月期 通期	2024年3月期 通期	前期比	
オファリングサービス	99,132	116,115	+16,983	(+17.1%)
ソフトウェア開発	45,662	45,618	▲44	(▲0.1%)
運用・クラウドサービス	31,441	39,491	+8,050	(+25.6%)
製品・ソフトウェア販売	22,028	31,006	+8,977	(+40.8%)
BPM	40,958	39,882	▲1,076	(▲2.6%)
ソフトウェア開発	17,855	13,219	▲4,635	(▲26.0%)
運用・クラウドサービス	23,103	25,536	+2,433	(+10.5%)
製品・ソフトウェア販売	—	1,125	+1,125	—
金融IT	99,432	104,822	+5,389	(+5.4%)
ソフトウェア開発	55,720	59,294	+3,574	(+6.4%)
運用・クラウドサービス	36,952	40,167	+3,214	(+8.7%)
製品・ソフトウェア販売	6,760	5,361	▲1,399	(▲20.7%)
産業IT	112,916	121,309	+8,393	(+7.4%)
ソフトウェア開発	75,294	78,877	+3,583	(+4.8%)
運用・クラウドサービス	24,078	26,532	+2,454	(+10.2%)
製品・ソフトウェア販売	13,543	15,899	+2,356	(+17.4%)
広域ITソリューション	153,531	164,786	+11,255	(+7.3%)
ソフトウェア開発	79,396	83,750	+4,353	(+5.5%)
運用・クラウドサービス	54,793	56,571	+1,778	(+3.2%)
製品・ソフトウェア販売	19,341	24,465	+5,123	(+26.5%)

© 2024 TIS Inc.

(説明省略)

(参考) 2024年3月期第4四半期 (1-3月)
業績ハイライト・主要セグメント別損益



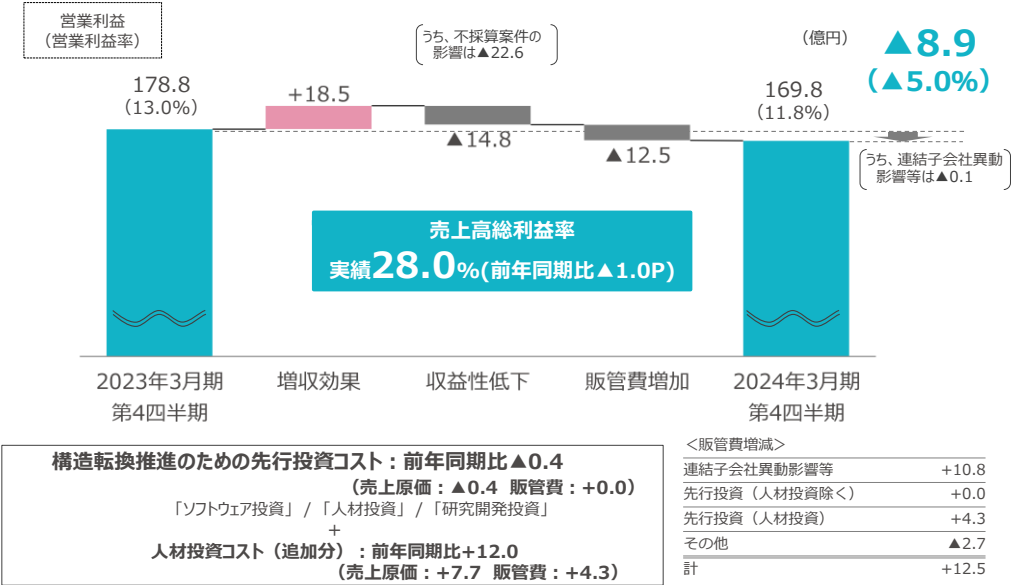
(百万円)		2023年3月期 第4四半期	2024年3月期 第4四半期	前年同期比	
売上高		138,017	144,260	+6,242	(+4.5%)
営業利益		17,884	16,989	▲894	(▲5.0%)
営業利益率		13.0%	11.8%	▲1.2P	—
親会社株主に帰属する四半期純利益		23,303	16,683	▲6,620	(▲28.4%)
四半期純利益率		16.9%	11.6%	▲5.3P	—
主要セグメント別					
オフアリング サービス	売上高	30,236	37,058	+6,821	(+22.6%)
	営業利益	1,926	2,166	+239	(+12.4%)
	営業利益率	6.4%	5.8%	▲0.6P	—
BPM	売上高	11,032	10,713	▲319	(▲2.9%)
	営業利益	1,478	1,477	▲0	(▲0.0%)
	営業利益率	13.4%	13.8%	+0.4P	—
金融IT	売上高	27,105	26,484	▲621	(▲2.3%)
	営業利益	3,988	3,928	▲60	(▲1.5%)
	営業利益率	14.7%	14.8%	+0.1P	—
産業IT	売上高	31,011	32,216	+1,205	(+3.9%)
	営業利益	4,604	5,018	+414	(+9.0%)
	営業利益率	14.8%	15.6%	+0.8P	—
広域IT ソリューション	売上高	44,588	45,091	+502	(+1.1%)
	営業利益	5,773	4,319	▲1,454	(▲25.2%)
	営業利益率	12.9%	9.6%	▲3.3P	—

© 2024 TIS Inc.

13

- 13ページから15ページは、第4四半期の3か月間の業績を示したものです。
- 概ね通期の説明と重複しますので、説明は省略させていただきます。

(参考) 2024年3月期第4四半期 (1-3月)
営業利益要因別増減分析 (前年同期比)



© 2024 TIS Inc.

14

(説明省略)

(参考) 2024年3月期第4四半期 (1-3月)
主要セグメント別売上高 (事業別) ※外部顧客向け



(百万円)	2023年3月期 第4四半期	2024年3月期 第4四半期	前年同期比	
オファリングサービス	26,626	31,949	+5,323	(+20.0%)
ソフトウェア開発	11,607	12,421	+813	(+7.0%)
運用・クラウドサービス	8,708	10,758	+2,050	(+23.5%)
製品・ソフトウェア販売	6,309	8,769	+2,459	(+39.0%)
BPM	10,453	10,181	▲271	(▲2.6%)
ソフトウェア開発	4,773	3,355	▲1,417	(▲29.7%)
運用・クラウドサービス	5,680	6,479	+799	(+14.1%)
製品・ソフトウェア販売	—	345	+345	—
金融IT	26,596	26,139	▲457	(▲1.7%)
ソフトウェア開発	15,882	14,128	▲1,754	(▲11.0%)
運用・クラウドサービス	9,238	10,644	+1,405	(+15.2%)
製品・ソフトウェア販売	1,475	1,366	▲109	(▲7.4%)
産業IT	30,848	32,049	+1,200	(+3.9%)
ソフトウェア開発	19,867	20,763	+896	(+4.5%)
運用・クラウドサービス	6,207	6,617	+410	(+6.6%)
製品・ソフトウェア販売	4,773	4,668	▲105	(▲2.2%)
広域ITソリューション	42,879	43,406	+527	(+1.2%)
ソフトウェア開発	21,779	21,373	▲406	(▲1.9%)
運用・クラウドサービス	14,063	14,382	+318	(+2.3%)
製品・ソフトウェア販売	7,035	7,650	+614	(+8.7%)

© 2024 TIS Inc.

(説明省略)

2024年3月期 受注状況（当期受注高）



・受注高全体は運用等が牽引し、前期比増加。M&A効果も寄与。
・開発の減少は大型案件の反動減のあった金融ITが主因。産業ITやオフリングサービス等は伸長。

(百万円)		2023年3月期 通期	2024年3月期 通期	前期比	
当期受注高		523,956	552,940	+28,984	(+5.5%)
うちソフトウェア開発		282,739	278,508	▲4,231	(▲1.5%)
主要セグメント別					
オフリング サービス	当期受注高	100,617	123,518	+22,901	(+22.8%)
	うちソフトウェア開発	42,831	47,799	+4,968	(+11.6%)
BPM	当期受注高	39,904	39,976	+71	(+0.2%)
	うちソフトウェア開発	16,800	13,030	▲3,770	(▲22.4%)
金融IT	当期受注高	108,841	101,977	▲6,864	(▲6.3%)
	うちソフトウェア開発	65,666	52,209	▲13,457	(▲20.5%)
産業IT	当期受注高	113,115	120,253	+7,138	(+6.3%)
	うちソフトウェア開発	73,849	79,248	+5,398	(+7.3%)
広域IT ソリューション	当期受注高	161,477	167,214	+5,737	(+3.6%)
	うちソフトウェア開発	83,591	86,221	+2,629	(+3.1%)

- ・ 16ページからは受注状況についてのご説明です。
- ・ まず、受注高全体は各セグメントで運用受注がしっかり積みあがったことで前期比5.5%増の5,529億円となりました。
- ・ 開発の受注高は、前期比で減少となりましたが、金融ITの複数の大型案件の反動減が大きく影響しており、概ね想定に沿った結果ととらえています。

2024年3月期 受注状況（期末受注残高）



・受注高の傾向と概ね変わらず前期比増加。産業ITの減少は特定の販売案件の反動によるもの。

(百万円)		2023年3月期 通期	2024年3月期 通期	前期比	
期末受注残高		180,373	188,044	+7,671	(+4.3%)
うちソフトウェア開発		103,282	101,386	▲1,896	(▲1.8%)
主要セグメント別					
オフラインサービス	期末受注残高	33,199	42,248	+9,049	(+27.3%)
	うちソフトウェア開発	13,616	16,152	+2,536	(+18.6%)
BPM	期末受注残高	7,449	7,543	+94	(+1.3%)
	うちソフトウェア開発	7,449	7,259	▲189	(▲2.5%)
金融IT	期末受注残高	48,799	45,954	▲2,845	(▲5.8%)
	うちソフトウェア開発	31,824	24,739	▲7,085	(▲22.3%)
産業IT	期末受注残高	38,064	37,009	▲1,055	(▲2.8%)
	うちソフトウェア開発	22,694	23,065	+370	(+1.6%)
広域ITソリューション	期末受注残高	52,861	55,289	+2,428	(+4.6%)
	うちソフトウェア開発	27,697	30,169	+2,471	(+8.9%)

- ・ 17ページは期末受注残高の状況です。
- ・ 受注残高全体については前期比増加となりました。概ね受注高の傾向と変わりありませんが、「産業IT」の減少は、特定の販売案件の反動によるものです。

(参考) 2024年3月期第4四半期(1-3月)受注状況



(百万円)		2023年3月期 第4四半期	2024年3月期 第4四半期	前年同期比	
当期受注高		179,259	188,389	+9,130	(+5.1%)
うちソフトウェア開発		85,522	84,619	▲903	(▲1.1%)
主要セグメント別					
オファリング サービス	当期受注高	36,393	45,375	+8,981	(+24.7%)
	うちソフトウェア開発	12,622	13,210	+587	(+4.7%)
BPM	当期受注高	9,142	11,032	+1,890	(+20.7%)
	うちソフトウェア開発	3,461	4,105	+643	(+18.6%)
金融IT	当期受注高	41,102	39,353	▲1,748	(▲4.3%)
	うちソフトウェア開発	22,567	17,795	▲4,771	(▲21.1%)
産業IT	当期受注高	38,374	37,381	▲992	(▲2.6%)
	うちソフトウェア開発	21,516	22,162	+646	(+3.0%)
広域IT ソリューション	当期受注高	54,246	55,245	+999	(+1.8%)
	うちソフトウェア開発	25,353	27,344	+1,990	(+7.8%)

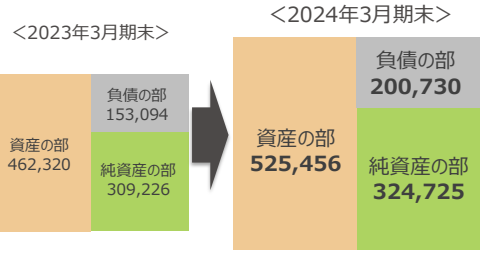
- 18ページは第4四半期の3か月間の受注高の状況です。
- 「オファリングサービス」は、海外事業や日本ICS分の増加が全体の伸びを牽引しました。
- 「金融IT」は大型案件の反動減の影響で開発は減少しましたが、運用が積みあがりました。
- また、「産業IT」ではERPやエネルギー関連、「広域ITソリューション」では銀行等の金融系顧客の開発案件を中心に案件が積みあがりました。

2024年3月期 貸借対照表、キャッシュフローの状況



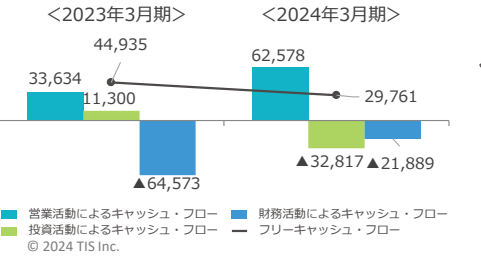
・M&Aや不動産信託受益権の分割取得等に対して借入金を活用。自己資本比率は低下。

貸借対照表の状況



- **資産の部：+63,135百万円**
 - ・流動資産：+22,873百万円（現金・預金 +8,879百万円、受取手形、売掛金及び契約資産 +12,653百万円 等）
 - ・固定資産：+40,261百万円（有形固定資産 +7,397百万円、無形固定資産 +28,129百万円 等）
- **負債の部：+47,636百万円**
 - ・流動負債：+23,098百万円（契約負債 +8,067百万円 等）
 - ・固定負債：+24,538百万円（長期借入金 +16,456百万円 等）
- **純資産の部：+15,498百万円**
 - ・株主資本：+9,333百万円（資本剰余金 ▲28,155百万円、利益剰余金 +36,269百万円 等）
 - ・その他の包括利益累計額：+6,037百万円（有価証券評価差額金 +3,815百万円 等）
- **自己資本比率：59.5%（▲4.7P）**
- **有利子負債：37,972百万円（+21,929百万円）**

キャッシュ・フローの状況



- **営業活動によるキャッシュ・フロー：+28,944百万円**
 - ・税金等調整前当期純利益：▲12,299百万円
 - ・投資有価証券売却益：+16,063百万円
 - ・営業活動に係る債権債務増減：+8,283百万円
 - ・法人税等の支払：+6,076百万円
- **投資活動によるキャッシュ・フロー：▲44,118百万円**
 - ・子会社株式の取得：▲20,724百万円
 - ・投資有価証券の売却：▲16,690百万円
- **財務活動によるキャッシュ・フロー：+42,684百万円**
 - ・借入金・社債の純増減額：+42,902百万円

*有利子負債にはリース債務を含めておりません。

- ・ 19ページは、貸借対照表とキャッシュ・フローの状況です。
- ・ 当期は、M&Aや不動産信託受益権の分割取得等の実施に対して借入金を活用するとともに、資本構成適正化の一環で、大規模な自己株式の取得も実施しました。
- ・ 結果として自己資本比率は60%弱に低下しています。
- ・ 引き続き、資本効率・資本コストを意識した取り組みを進めてまいります。
- ・ 2024年3月期実績に関する説明は以上となります。

2024年3月期 業績概要

2025年3月期 業績見通し

株主還元

参考資料

- 続きまして、2025年3月期の通期業績見通しについてご説明します。

・世界的な金融引き締めや海外景気の下振れによる先行き懸念等による経済環境の変化に注視は必要。一方で、IT投資の長期的な拡大傾向の見方は継続。

オフリングサービス

- ✓ キャッシュレス市場は継続成長、政策・環境・DX・インバウンド等、追い風要素も広がる。
- ✓ 金融×事業会社の取組みで多様なテーマが存在(スマートシティ・デジタル口座等)。
- ✓ ASEAN経済はインフレ、金融引き締めを背景に成長ペース減速傾向。
- ✓ クラウド・セキュリティ市場は成長継続。会計・経営管理領域も引き続き活況。

BPM

- ✓ 人材不足・働き方改革・付加価値業務へのシフトは変わらず、BPO市場は緩やかに成長の見通し。
- ✓ データエントリ等単純アウトソーシングはデジタル化進展で縮小。価格競争が激化。
- ✓ 業務プロセスのデジタル化需要は堅調。生成AI活用の需要も高まる傾向。

金融IT

- ✓ 「資産運用立国実現」をはじめ、金融IT市場は活性。競争力強化のためのIT投資が強まる見通し。
- ✓ 決済市場成長に伴い、新興プレイヤーとの競争、特に自社経済圏の囲い込みは激化。
- ✓ 個別にはクレジットカード・公共系金融機関の大型PJがピークアウト。

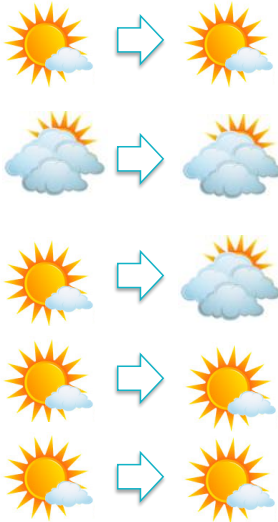
産業IT

- ✓ DX需要は継続し、モダナイゼーション、ERP更改等は引き続き堅調に推移。
- ✓ サービス等、コロナ後復調、IT投資も旺盛。
- ✓ 原油価格高騰・円安進行、貴金・物価上昇圧力等の影響は要注視。

広域ITソリューション

- ✓ 業界・企業ごとにばらつきあるもののIT需要は堅調。
- ✓ 中堅・中小企業についてもIT投資増加の傾向。

<これまで> <これから>

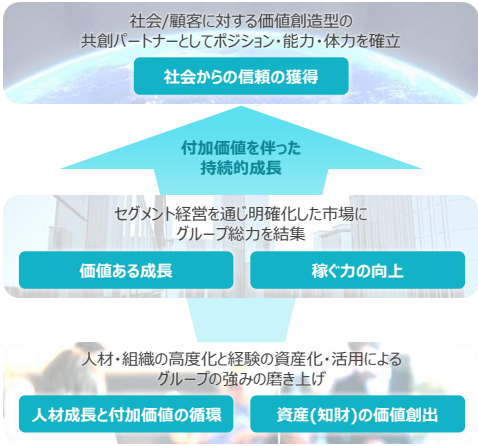


- ・ まず21ページは、事業環境の認識です。
- ・ 一般経済環境の変化には注視が必要な状況ではありますが、IT投資の長期的な拡大傾向は続くものという見方に変わりはありません。
- ・ 全体としては今後も良好な事業環境が続くと期待していますが、固有の状況等によりセグメント毎に色合いが分れると考えています。

中期経営計画(2024-2026)基本方針

Frontiers 2026
フロンティア開拓

未来志向で市場開拓と事業領域の拡大を起点とした
バリューチェーン全般の質的向上により、社会と顧客の変革を実現



© 2024 TIS Inc.

2025年3月期グループ経営方針

サステナビリティ経営による社会提供価値・企業価値を持続的に成長

- 「社会変革に不可欠な存在へ基盤確立」を目指し、事業活動を通じた社会への影響を指標化・目標化し、中長期的な社会課題解決を促進
- 企業価値向上に資する戦略機能強化と本社機能・全社業務のDX化による効率化を両輪で推進

課題解決力の強化による高付加価値化

- コンサルタント、ITアーキテクト、高度営業人材等の拡充により、課題解決力・洞察力・統合力を高め顧客への提供価値を向上
- 業界軸・機能軸でのサービス提供、サービスのフルバリューチェーン化やビュアサービス[※]拡充により付加価値向上を加速

積極投資の継続による事業構造の転換等により収益性を拡大

- 戦略ドメイン転換を一層促進するための投資を継続推進
- 金融ITおよびBPMの再成長シナリオの具体化、不採算案件の抑制
- 生成AI等の業務適用による生産性向上の成果創出

ASEANトップクラスのIT企業連合体を目指した事業拡大とガバナンス確立

- 莫大なマーケットポテンシャルを持つアジアを長期ターゲットとし、ASEANでの事業拡大に向けた出資先との関係強化・共同事業展開、産官学連携による新規事業創出人材の獲得・育成など、更なる市場深耕を推進

人材成長と知財活用の強化により付加価値の提供を最大化

- 人的資本経営を深化させ、積極的な人材投資(教育・報酬等)の継続により、専門性を兼ね備えた人材がフロンティア開拓をリード
- 顧客接点情報のフィードバック強化による知財創出など、一層の知財蓄積・利活用を推進

※ 基本的に全ての顧客に画一的な仕様を提供するサービスの形態

(説明省略)

2025年3月期 業績予想ハイライト



- ・大型案件の反動減の影響がある中、事業拡大により増収営業増益の計画。
- ・当期純利益の減少等は、前期に計上した営業外収益及び特別利益の反動減等が要因。

(百万円)	2024年3月期 実績	2025年3月期 計画	前期比	
売上高	549,004	555,000	+5,995	(+1.1%)
営業利益	64,568	66,500	+1,931	(+3.0%)
営業利益率	11.8%	12.0%	+0.2P	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	48,873	44,800	▲4,073	(▲8.3%)
当期純利益率	8.9%	8.1%	▲0.8P	—
1株当たり当期純利益 (円)	203.28	192.55	▲10.73	(▲5.3%)
ROE (*1)	16.0%	13.9%	▲2.1P	—

*1 : 2025年3月期のROEは、試算値。

© 2024 TIS Inc.

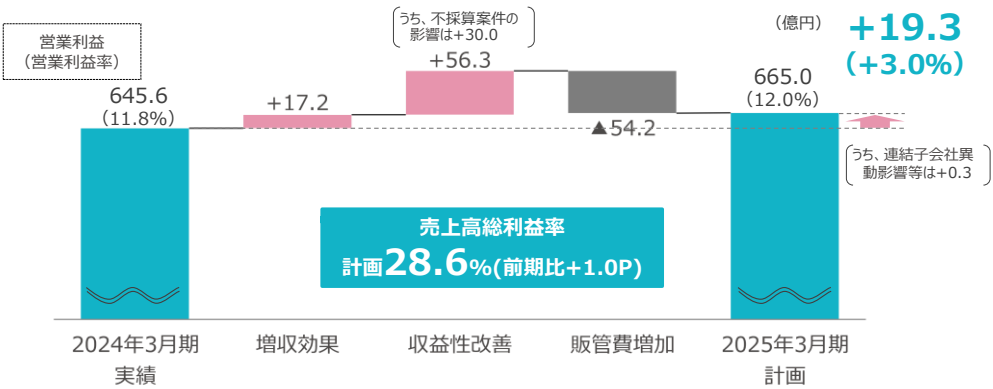
23

- ・ 22ページに掲載している経営方針に基づいて、23ページでは2025年3月期の通期業績予想をご説明します。
- ・ 売上高は前期比1.1%増の5,550億円、営業利益は前期比3.0%増の665億円の増収営業増益の計画です。
- ・ 大型案件の反動影響が大きいことや積極的な成長投資を継続することから、成長率は緩やかにはなりますが、引き続き事業成長を目指してまいります。
- ・ なお、当期純利益は前期に計上した営業外収益と特別利益の反動から減益の計画であり、この影響等によりROEも2025年3月期に関しては低下する見込みです。
- ・ 不採算案件の目標は通期で10億円以内としていますので、あらためてしっかりと抑制に努めてまいります。

2025年3月期 営業利益要因別増減分析（予想）



・人材への投資をはじめとする積極的な成長投資を継続。高付加価値ビジネスの提供や生産性向上施策の推進等による利益増により、営業増益を見込む。



成長投資（人材投資 / 研究開発投資 / ソフトウェア投資）
前期比+6.0（売上原価：+3.0 販管費：+3.0）

＜販管費増減＞	
連結子会社異動影響等	+15.8
成長投資	+3.0
施策推進	+18.6
その他経費	+16.8
計	+54.2

（説明省略）

2025年3月期 主要セグメント別損益状況（予想）



（百万円）		2024年3月期 実績	2025年3月期 計画	前期比	
オファリングサービス	売上高	130,759	140,800	+10,040	(+7.7%)
	営業利益	7,659	8,600	+940	(+12.3%)
	営業利益率	5.9%	6.1%	+0.2P	－
BPM	売上高	41,953	43,000	+1,046	(+2.5%)
	営業利益	4,551	4,500	▲51	(▲1.1%)
	営業利益率	10.8%	10.5%	▲0.3P	－
金融IT	売上高	106,304	98,500	▲7,804	(▲7.3%)
	営業利益	15,185	12,000	▲3,185	(▲21.0%)
	営業利益率	14.3%	12.2%	▲2.1P	－
産業IT	売上高	121,896	125,500	+3,603	(+3.0%)
	営業利益	18,287	19,600	+1,312	(+7.2%)
	営業利益率	15.0%	15.6%	+0.6P	－
広域ITソリューション	売上高	172,376	171,000	▲1,376	(▲0.8%)
	営業利益	18,497	21,500	+3,002	(+16.2%)
	営業利益率	10.7%	12.6%	+1.9P	－

オファリングサービス	： 決済やその他幅広いサービスの拡大や海外事業の収益性改善により増収増益。
BPM	： データエントリー業務等からプロセス最適化等の注力領域へ事業ポートフォリオ転換推進も、過渡期により、増収減益。
金融IT	： 既存顧客での複数の大型案件の反動減の影響が大きく、減収減益。
産業IT	： 製造業やサービスを中心とした既存顧客の深耕やERP関連のIT投資需要の取り込みにより増収増益。
広域ITソリューション	： 前期の販売の反動減等により減収も、生産性向上や不採算案件抑制により増益。

© 2024 TIS Inc.

- 25ページは、セグメント別の業績予想の内容です。
- 「オファリングサービス」や「産業IT」が好調で牽引する一方、「金融IT」は減収減益、「広域ITソリューション」の増益は不採算案件影響がなくなることによるものです。

2024年3月期 業績概要

2025年3月期 業績見通し

株主還元

参考資料

- 最後に、株主還元についてご説明します。

総還元性向
50%*
(45%から引上げ)

*営業活動から得られた利益（法人税等・非支配株主利益控除後）をもとに算出

1株当たり配当
継続的な充実化

自己株式保有
5%程度を上限

成長投資の推進・財務健全性の確保・株主還元の強化のバランスのもと、資本構成の適正化を推進し、資本効率性の向上を目指す。



成長投資の推進

- 成長投資3年累計約1,000億円
- 事業ポートフォリオ最適化への積極投資
- 資本コストを上回るリターンを持続的創出、エクイティスプレッド拡大の追求

株主還元の強化

- 総還元性向50%(目安) ※45%からの引き上げ
- 1株当たりの配当充実の継続
- 保有する自己株式は原則発行済株式総数の5%程度、超過分は消却

財務健全性の確保

- キャッシュ創出力の向上に応じた**資本構成の適正化**を意識し、D/Eレシオ0.5まで許容
- 格付「A格」の維持 ※2023/11/13現在「A+」
- 現預金水準をコミットメントライン併せ月商2ヶ月程度保有

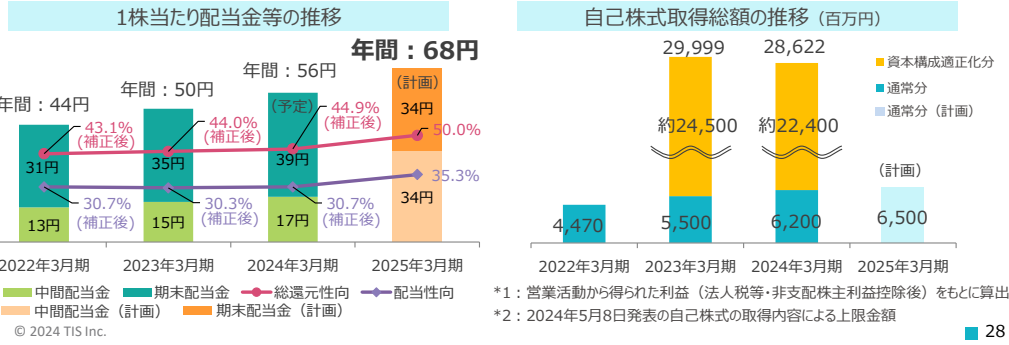
- ・ 27ページでは、この後説明する新中期経営計画における株主還元の基本方針を切り出して掲載しています。
- ・ 総還元性向の目安を45%から50%に引き上げ、1株当たり配当金については継続的な充実化を図るとともに、自己株式の取得を合わせて実施します。

株主還元の状況・計画



・2024年3月期は期末増配3円を実施、年間配当は56円に。12期連続増配。
・2025年3月期は年間配当68円を計画。総還元性向の引上げ分を配当増で対応。

	2024年3月期			2025年3月期
	(通常分)	(資本構成適正化分)	(合計)	
1株当たり年間配当金	56円 (前期比+6円) (計画比+3円)	—	56円	68円 (前期比+12円)
配当総額	133億円	—	133億円	159億円
配当性向 (補正後*1)	27.5% (30.7%)	—	27.5%	35.3%
自己株式取得総額	約62億円	約224億円	約286億円	65億円 *2
総還元性向 (補正後*1)	39.9% (44.9%)	—	85.8%	50.0%



- ・ 28ページをご覧ください。
- ・ 2024年3月期は修正計画を上回る事業成長を果たしたことを受け、基本方針である総還元性向45%に沿うように、1株当たりの期末配当金を計画から3円増やし、1株当たり年間配当金を56円とします。
- ・ 2025年3月期については、総還元性向を45%から50%に引き上げた分を増配することで、1株当たりの年間配当金を12円増の68円とする計画です。なお、2025年3月期より中間・期末の配当バランスを1:1に見直すこととしました。
- ・ また、自己株式の取得については65億円の実施を決定しています。
- ・ 今後も株主還元の基本方針に基づいて、成長投資の推進・財務健全性の確保とのバランスをとりつつ、事業成長に応じた株主還元を実施してまいります。
- ・ 以上で、私からの説明を終了させていただきます。

2024年3月期 業績概要

2025年3月期 業績見通し

株主還元

参考資料

(説明省略)

2025年3月期上期

業績ハイライト・主要セグメント別損益（予想）



(百万円)		2024年3月期 上期	2025年3月期 上期	前年同期比	
売上高		267,488	270,000	+2,511	(+0.9%)
営業利益		30,387	30,000	▲387	(▲1.3%)
営業利益率		11.4%	11.1%	▲0.3P	－
親会社株主に帰属する四半期純利益		20,307	20,300	▲7	(▲0.0%)
四半期純利益率		7.6%	7.5%	▲0.1P	－
主要セグメント別					
オフアライン サービス	売上高	60,148	68,600	+8,451	(+14.1%)
	営業利益	2,659	3,300	+640	(+24.1%)
	営業利益率	4.4%	4.8%	+0.4P	－
BPM	売上高	20,994	21,400	+405	(+1.9%)
	営業利益	2,108	2,100	▲8	(▲0.4%)
	営業利益率	10.0%	9.8%	▲0.2P	－
金融IT	売上高	54,106	50,000	▲4,106	(▲7.6%)
	営業利益	7,886	6,000	▲1,886	(▲23.9%)
	営業利益率	14.6%	12.0%	▲2.6P	－
産業IT	売上高	58,326	60,300	+1,973	(+3.4%)
	営業利益	8,470	9,200	+729	(+8.6%)
	営業利益率	14.5%	15.3%	+0.8P	－
広域ITソリューション	売上高	85,535	82,000	▲3,535	(▲4.1%)
	営業利益	9,013	9,300	+286	(+3.2%)
	営業利益率	10.5%	11.3%	+0.8P	－

(説明省略)

2025年3月期下期

業績ハイライト・主要セグメント別損益（予想）



(百万円)		2024年3月期 下期	2025年3月期 下期	前年同期比	
売上高		281,515	285,000	+3,484	(+1.2%)
営業利益		34,181	36,500	+2,318	(+6.8%)
営業利益率		12.1%	12.8%	+0.7P	—
親会社株主に帰属する四半期純利益		28,566	24,500	▲4,066	(▲14.2%)
四半期純利益率		10.1%	8.6%	▲1.5P	—
主要セグメント別					
オフアライン サービス	売上高	70,611	72,200	+1,588	(+2.2%)
	営業利益	5,000	5,300	+299	(+6.0%)
	営業利益率	7.1%	7.3%	+0.2P	—
BPM	売上高	20,958	21,600	+641	(+3.1%)
	営業利益	2,442	2,400	▲42	(▲1.7%)
	営業利益率	11.7%	11.1%	▲0.6P	—
金融IT	売上高	52,197	48,500	▲3,697	(▲7.1%)
	営業利益	7,298	6,000	▲1,298	(▲17.8%)
	営業利益率	14.0%	12.4%	▲1.6P	—
産業IT	売上高	63,569	65,200	+1,630	(+2.6%)
	営業利益	9,816	10,400	+583	(+5.9%)
	営業利益率	15.4%	16.0%	+0.6P	—
広域ITソリューション	売上高	86,840	89,000	+2,159	(+2.5%)
	営業利益	9,484	12,200	+2,715	(+28.6%)
	営業利益率	10.9%	13.7%	+2.8P	—

© 2024 TIS Inc.

下期計画＝通期計画－上期計画

(説明省略)

2024年3月期第4四半期 プレスリリース/お知らせ①



発表日付	タイトル
2024年1月4日	TIS の人事異動のお知らせ
2024年1月4日	TISインテックグループ 2024年 年頭所感
2024年1月10日	ネクスウェイ、チェーンストア向けコミュニケーションツール「店舗matic」をDAISOに導入
2024年1月11日	インテック、金融機関向け総合情報系ソリューションを「fcube」へ リブランディング
2024年1月15日	「令和6年能登半島地震」被害への支援について
2024年1月15日	PayPay銀行がインテックの「電話認証サービス」を採用
2024年1月16日	インテック、企業の機密情報保護に配慮した安心・安全な企業向けChatGPT導入のサポートを開始
2024年1月17日	TIS、クラウド型サービス「Spendia」でリンクレアの経費精算DXを実現
2024年1月18日	TIS、精神科向け電子カルテ提供のレスコを連結子会社化
2024年1月24日	プリマハムグループが基幹システムと周辺システムとのデータ連携基盤にTISの「会計自動仕訳エンジン」を採用
2024年1月25日	インテックのスマートホームアプリ「UCHITAS（ウチタス）」が住宅用太陽光発電や電気自動車充電器等のエネマネ機器対応を強化
2024年1月29日	TIS、AI搭載型チャットボット作成サービス「Dialog Play®」に新機能を追加
2024年1月29日	インテック、「スポーツエールカンパニー」と「東京都スポーツ推進企業」に6年連続認定
2024年1月29日	誰でも作れるVisaプリペイド ultra pay カード、本人認証サービス（3-Dセキュア）に対応
2024年1月30日	クオリカ 生産性改善システム「KOM-MICS」を金沢工業大学へ導入
2024年1月31日	インテックの「EDIアウトソーシングサービス（EINS/EDI-Hub Nex）」をセンコー情報システムが採用
2024年1月31日	TIS、旭化成グループの基幹システムを「SAP S/4HANA」に全面刷新
2024年2月1日	ショーケースとネクスウェイ、F P L 証券に「ProTech ID Checker」と「本人確認BPOサービス」を導入
2024年2月1日	TISおよび連結子会社の人事異動、機構改革のお知らせ
2024年2月9日	連結子会社の人事異動のお知らせ

(説明省略)

2024年3月期第4四半期 プレスリリース/お知らせ②



発表日付	タイトル
2024年2月14日	インテック、課題解決特化型IoTサービスに「作業者動態見える化テンプレート」を追加
2024年2月16日	インテックと伊那市、高校生を中心とした人流解析の実証実験を実施
2024年2月16日	TISの「Xenlon～神龍 モダナイズーションサービス」でパナソニックグループの人事システムのオープン化を7か月で実現
2024年2月19日	TISの「BtoB新規事業開発支援サービス」に新規事業開発ワークショップを新メニューとして追加
2024年2月19日	ネクスウェィ、「アスマクDIポータル」を通じて 病院・薬局間の在庫状況共有を目的とした試験運用を開始
2024年2月21日	ULTRA、企業のブランドカラーでPayを提供する新サービス「PayBlend」の提供を開始
2024年2月22日	インテック、高岡市教育委員会に校務を支援するクラウド型のサービスを提供
2024年2月27日	マイクロメイツ、新入社員教育に適したeラーニングコンテンツ「ビジネスマナー & Microsoft 365活用術」を提供開始
2024年2月27日	TIS の人事異動のお知らせ
2024年2月28日	TIS、API市場の活性化を目指し「API連携ビジネス活用支援サービス」にシステム開発・運用担当者向け「API連携プラットフォーム構築支援パック」を追加
2024年2月28日	インテック社員が第69回「前島密賞」奨励賞を受賞
2024年2月29日	TIS、「Azure OpenAI Service リファレンスアーキテクチャ」賛同パートナー プログラムに参加
2024年2月29日	インテック、AIで人の動態から作業内容を推定し、製造業の生産性を可視化する実証実験を開始
2024年3月1日	TIS および連結子会社の人事異動のお知らせ
2024年3月4日	TIS、「働きがいのある会社」調査において「働きがい認定企業」に選出
2024年3月4日	インテック、がん研究会 有明病院の病理検体トレーサビリティ情報を記録するシステム構築を支援
2024年3月5日	フルテックとインテックが共同で、「橋梁損傷原因のAI診断支援技術」を研究開発
2024年3月6日	ハイブリッドテクノロジーズとアグレックス、ベトナムに開発拠点を共同で開設
2024年3月7日	インテック、富山県と生成AIおよびマルチモーダルAIを活用した働き方改革の実証実験を実施
2024年3月8日	TIS の人事異動のお知らせ

(説明省略)

2024年3月期第4四半期 プレスリリース/お知らせ③



発表日付	タイトル
2024年3月8日	TISの生成AI搭載チャットボット「Dialog Play®」が、Venture Lab社の催事スペース検索システム「スペースラボ」内で営業担当に代わり自然な会話の中で催事スペースを提案
2024年3月11日	TISインテックグループ「健康経営優良法人2024」に6社認定
2024年3月12日	ULTRA が提供する「PayBlend」を J リーグ アスシクロ沼津が導入
2024年3月13日	AJS、SAP® Signavio®を活用して業務標準化を進め販売管理プロセスの効率化、コスト削減を実現
2024年3月13日	TIS、札幌市のスマートシティ推進事業を支援
2024年3月14日	アグレックス、ウイングアーク1 s t と請求業務における連携開始
2024年3月14日	TIS、Umi Labs Japanとゼロ知識証明に関する協業を開始
2024年3月15日	連結子会社の人事異動のお知らせ
2024年3月18日	TIS、「生成AI導入支援サービス」に「生成AIプラットフォーム」を追加
2024年3月18日	ネクスウェイ、日本生命のネット保険加入における オンライン完結の本人確認を「本人確認BPOサービス」で支援
2024年3月21日	TIS、マルチロボットプラットフォーム「RoboticBase」ロボットとの接続APIを公開
2024年3月22日	ネクスウェイ、「アスヤクDIポータル」の会員薬局が2万軒を突破
2024年3月26日	TIS、「Oracle Cloud Infrastructureトータル支援サービス」にセキュリティ対策アセットメニューを追加
2024年3月26日	インテック、ケンタッキーフライドチキンの全国約1,200店舗に統合型セキュアネットワークサービスを導入
2024年3月26日	日本生命保険相互会社、ニッセイ情報テクノロジー株式会社、TIS株式会社、株式会社インテックにおける資本業務提携について
2024年3月27日	インテックのスマートホームアプリ「UCHITAS（ウチタス）」が、次世代スマートメーター対応のコントローラーとしてECHONET Lite AIF認証（第1号）を取得
2024年3月27日	TIS、UiPath製品の導入・サポートサービスにオートメーションプラットフォーム活用支援メニューを追加
2024年3月28日	TIS、データ分析で企業の成長と競争力の強化を実現する経営管理サービス群「ACTIONARISE」をリニューアル
2024年3月28日	インテック、富山第一銀行の情報システムをAWSへ全面移行し、運用・監視を支援
2024年3月29日	インテック、TSUBASAアライアンス参加4行にAmazon Connectと連携したコールセンターサービスを導入
2024年3月29日	クオリカ、2024年4月より報酬アップを含む人事制度の改定を実施

(説明省略)

ITで、社会の願い叶えよう。



<本資料の取り扱いに関して>

本資料は、著作権法及び不正競争防止法上の保護を受けております。資料の一部あるいは全部について、TIS株式会社から許諾を得ずに、複写、複製、転記、転載、改変、ノウハウの使用、営業秘密の開示等を行うことは禁じられております。本文記載の社名・製品名・ロゴは各社の商標または登録商標です。

(説明省略)